

開設講習名	【選択】初歩から始める GIS		講 師	楮原 京子	
講習会場	山口大学吉田キャンパス		会場所在地	山口県山口市	
開 設 日	平成 29 年 6 月 17 日		時間数	6 時間	受講予定人数 20 人
受講者募集期間	平成 29 年 4 月 7 日～平成 29 年 4 月 15 日		履修認定時期	平成 29 年 8 月 10 日まで	
履修認定対象職種	教諭	主な受講対象者	中学校社会・高等学校地理歴史教諭		
受講料等総額	6,000 円	(うち受講料以外の経費)			

**【到達目標】**

GIS(地理情報システム)の特徴を理解するとともに、Web 上で使える Google Earth や地理院地図、フリーソフトウェアである QGIS の基礎的操作ができるようになること。

**【講習の概要】**

社会科においてGIS(地理情報システム)に関連した学習内容が新学習指導要領で導入される。このような変化への対応として、GISを活用した教材作成できるスキルを習得するとともに、身のまわりの様々な地理情報を活用できる力を育てる授業の在り方や効果的な指導方法について考察する。模擬的な地域調査も取り入れた初心者向けのGIS講習を行う。

1) GIS(地理情報システム)の概説

GIS とはどのような仕組みを持っているものか、どのような情報を取り扱い、私たちの暮らしの中でどう利用されているのか解説する。

2) PC のセットアップ

各自のノートパソコンをインターネットに接続し、GIS ソフトウェアをインストールする。

3) GIS サーバーの使い方

インターネット環境下であれば、誰でも使える GIS サーバー(Google Earth や地理院地図)を用いて、その操作方法や情報の表示方法などを学ぶ。

4) 模擬地域調査(雨天の場合、この項目は取りやめ、こちらが準備した情報を基に、5)の実習を行う)

「身近な地域を調べる」という授業を意識し、地図を片手に学内を散策し、見聞きしたものを記録する。

5) GIS サーバーによる地域調査のまとめ方

模擬地域調査で取得した情報を基に、GIS サーバーを用いた取りまとめ方を学ぶ。

6) オープンデータを利用した主題図づくり

公開され 2 次利用できる情報(オープンデータ)について学び、そのデータを利用した主題図の作成方法について学ぶ。

完成した主題図を互いに評価し、情報の地図表現に関して議論する。

7) 授業等における GIS 活用に関する討論

実習を通して学んだこと、感じたことを振り返り、GIS を授業に取り入れることに対するメリット・デメリットを整理する。特にすぐに直面しそうな問題点や課題点を洗い出し、その解決法を探る。

**【評価の方法・評価基準】**

評価の方法: 実技考査

評価基準:

合 格: 講義の内容を理解し、基礎的な GIS ソフトの操作ができる。

不合格: 上記以外

**【テキスト・参考文献】**

事前にテキスト(資料)を配布予定。

**【受講者への伝達事項】**

GIS ソフトのインストール・実習は各自のノートパソコンを使用します。ノートパソコン・デジカメを準備して下さい。模擬地域調査で大学構内を歩きます。歩きやすい服装でお越し下さい。